

(議案第1号)

平成20年度事業報告について

項 目	内 容
1 世界遺産登録への取り組み状況	<p>(1) 松本市は18年11月30日、長野県と共同で、国連教育科学文化機関（ユネスコ）に提出する世界遺産登録の国内候補を載せた「暫定一覧表（リスト）」に、国宝松本城を推薦する提案書を、文化庁に提出した。</p> <p>(2) その後、文化庁の審査で「継続審議案件」となり、19年12月再提案書と検討状況報告書を提出し、「姫路城を中心とした日本の近世城郭群」で研究を進めることを報告し、20年3月、世界文化遺産特別委員会ワーキンググループのヒアリングを受けた。</p> <p>(3) また、1、2月には松本市長と彦根市長・犬山市長の間で今後「近世城郭群」で研究を進めることの合意が得られ、3月に事務レベル会議を実施した。</p> <p>(4) 20年9月には、文化庁文化審議会文化財分科会世界遺産特別委員会から「カテゴリーIb」に該当という審議結果を受けた。</p> <p>(5) 彦根市・犬山市と国宝四城近世城郭群での研究を進めるとともに、文化庁からの課題である「城郭及び城下町等の世界的視野での普遍的価値」について研究を進めてきた。</p>
2 松本城関係文化財の保護活動	<p>(1) 武家住宅の保存整備 市重要文化財高橋家住宅の復元整備が完了し、一般公開を開始した。県宝橋倉家住宅の保存を図るため、傷みの激しい箇所を修理を実施。</p>

	<p>(2) 西総堀土塁（土井尻）の整備に向けた基本設計を作成。21年度には、土塁を表示した歴史公園として供用開始（予定）</p> <p>(3) 孕み出しの見られた、内堀（埋橋南）石垣の復元的改修を実施</p> <p>(4) 南・西外堀復元と内環状北線（先線）の一体的整備に向けた地元説明会の開催及び意向調査の実施</p> <p>(5) 市重要有形民俗文化財「松本城下町の舞台」の修復事業に対する補助金の交付</p> <p>(6) 城下町文化財の「登録文化財」への支援</p> <p>(7) 「まるごと博物館」構想の推進</p>
<p>3 啓発・PR活動</p>	<p>(1) 「松本城・城下町写真エッセーコンテスト」を実施 世界遺産登録を目指す運動を盛り上げるため、前年度に続いて3回目の実施。15点の応募の中から、最優秀賞1点、優秀賞2点、佳作2点を選び、21年1月21日に表彰式を行った。コンテストに合わせ、20年9月9日から11月25日までの間に計8回の「松本城・城下町写真エッセー講座」を開催し、9人が受講した。</p> <p>(2) 世界遺産への機運を盛り上げる講演会を実施 「リサの見た日本の歴史とユニークな文化」を3月17日に。タレントのリサ・スティッグマイヤーさんが講演（観光ホスピタリティーカレッジ運営委と共催）</p> <p>(3) ホームページの充実と更新 「国宝松本城クイズ」を50回（週1回）にわたって掲載。</p>

	<p>ホームページのフロント面や各掲載資料をより読みやすくレイアウト、更新した。</p> <p>この結果、1日平均アクセス数は1,197件。(最多は3,579=11月11日)</p> <p>(4) 松本城・旧開智学校写生会、展覧会への協賛 松本市教育委員会などの主催。写生会は20年10月5日に実施。展覧会は21年1月22日～27日、応募全作品674点を「井上」で展示した。</p> <p>(5) 松本城・旧開智学校絵画展開催 (21年3月10日～4月9日) 同展覧会の特選～銅賞作品54点を八十二銀行松本営業部ギャラリー(大名町)で展示した。</p>
<p>4 世界遺産保護、文化財保護活動との協力</p>	<p>(1) ICOMOS(国際記念物遺跡会議)へ会員としての協力</p> <p>(2) 日本ユネスコ協会連盟の運動への協力</p>
<p>5 世界遺産にかかわる調査、研究活動</p>	<p>(1) 国宝四城近世城郭群研究会担当者会議を実施し、調査研究及び情報交換</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回研究会 5月12日～13日(犬山市) ・第2回研究会 8月4日～5日(松本市) ・第3回研究会 10月17日～18日(彦根市) <p>21年度からICOMOS等に関わる専門家を招いて研究会を引き続き実施(予定)</p> <p>(2) ICOMOS、UNESCO等関係団体の動向調査、情報収集</p> <p>ア 第32回世界遺産委員会は、2008年7月2日から7月10日にカナダのケベック・シティで開かれ、文化遺産19件、自然遺産8件(複合資産なし)の新規登録を決めた。</p>

イ この結果、世界遺産登録件数は、文化遺産679件、自然遺産174件、複合遺産25件の合計878件となった。

ウ 世界遺産登録リストへの記載の可否等を審議し、日本の「平泉—浄土思想を基調とする文化的景観」（岩手県）は、登録延期となった。

エ 近年、世界遺産の新規記載数を極力抑制し、専門的な評価を厳格に行う傾向にあり、新規記載は、厳しくなっている。

(3) 国内他地域の動向、情報収集

ア 「国立西洋美術館・本館」（東京都）

フランスをはじめ6か国で記載を目指す、「ル・コルビジエの建築と都市計画」には、国立西洋美術館・本館（東京都）が含まれ、第33回世界遺産委員会で登録の可否を審議する予定ですが、国際記念物遺跡会議（ICOMOS）は6月12日に「登録延期」を勧告し、困難な状況です。

イ 「善光寺と門前町」で再提案

提案書作成にあたり専門分野の有識者によるワーキンググループを編成し、信仰資産では他と類似するため、信仰を核とした寺院・宿坊群・仲見世・門前を有する「生きている善光寺門前町」というコンセプトに集約し、19年12月、資産の名称を「善光寺と門前町」に変更して再提案書と検討状況報告書を提出した。結果は、**カテゴリー I b**に該当

ウ 「妻籠宿・馬籠宿と中山道」

19年3月南木曾町と中津川市は、両市町にまたがる資産構成内容を検討し、歴史的人物や文学作品等も視野に入れ、共同で再提案することに合意し、19年12月資産の名称を「妻籠

宿・馬籠宿と中山道－『夜明け前』の世界－」に変更し両県と共同で再提案書等を提出した。結果は、カテゴリーⅠbに該当

エ 「岡谷の製糸遺産」の新規提案

19年9月、岡谷市は「日本製紙業近代化遺産～日本の近代化をリードし、世界に羽ばたいた糸都岡谷の製糸遺産～」を新規に文化庁へ提案書を提出した。結果は、カテゴリーⅡに該当

オ 「南アルプス世界自然遺産登録推進協議会」

20年4月、伊那市において推進協議会設立後初めての総会を開催し、世界自然遺産登録に向けた第一歩としてジオパーク（地質遺産を含む地質公園 ユネスコが推進活動を支援）への取り組みを推進していくことを決定した。（長野、山梨、静岡3県10市町村で構成）

